

備前市事務事業評価表

事務事業名	放送設備機器整備事業	コード	01-01-18-02
		担当課・係	有線テレビ放送制作室
		担当者	万波圭二
		電話	72-2660
事業実施期間	平成18年度～		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	01 安心で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	01 生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	18 有線テレビ放送	

事業について	
目的 (何のために)	有線テレビ放送設備機器のデジタル化整備
対象 (誰・何を対象に)	日生地域及び備前地域の一部のCATV加入世帯
内容	自主放送番組の放送・制作に係る機器のうち経年劣化したアナログ機器をデジタル対応機器に更新する。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
ビデオカメラ		1 台	
デジタルビデオセットレコーダー		4 台	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	経費補助金等	直接事業費	経費補助金等	直接事業費	経費補助金等	直接事業費	経費補助金等			
	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担			
	市債	市債	市債	市債	市債	市債	市債	市債			
合計	0	一般財源等	0	合計	3,457	一般財源等	3,457	合計	0	一般財源等	0

必要人員		人	0.10	人
結果指標	結果指標名			
	結果指標量			
	単位			
	対前年比			
	活動にかかるコスト	円	円	円
	単位当たりコスト	円	円	円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	良質な映像、番組の提供		
成果指標名	式又は説明		
	17年度	18年度	
成果指標量			
対前年比	-		
到達目標値	100%	到達目標年度	未定

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： <input type="checkbox"/>)	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	機器の老朽化が著しく送出システムについては特に危険な状態であり放送中止に陥る恐れがあり早急に危機を更新する必要がある。またデジタル放送移行に伴い平成21年度までには機器のデジタル化、HD対応に更新しなければならない必要に迫られている。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> A 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	本年度については計画通りに実施できた。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	最低限の機器の更新はできたが、送出制御装置が老朽化しておりこのままでは放送中断の恐れがある。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	

目標値	結果指標量	結果指標量
成果指標量		

総合評価	デジタルビデオセットレコーダー購入により最低限のデジタル放送が可能となったが、送出制御装置が老朽化しており早急に更新を検討する必要がある。また、地上デジタル放送移行に伴うデジタル化、ハイビジョン化の推進が今後必要となる。	評価区分 <A~E> B
------	--	------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	送出制御装置の更新	平成20年度以降	放送中止の回避
有効性	機器のデジタル化・ハイビジョン化の推進	平成20年度以降	高画質・高音質の番組の提供